

製品化・実用化の状況（平成 29 年度実施）

調査対象：本助成事業の活用 事例のうち平成 24 年度から平成 28 年度に技術開発が終了した事業者

調査期間：平成 29 年 12 月 19 日（火）～平成 30 年度 1 月 12 日（金）

<製品化・実用化の状況> ※複数回答あり

製品化されているもの（「製品化し出荷している」又は「出荷実績はないが製品化している」）は 24 件（29%）となり、本事業に係る固有の製品化以外に「既往の製品に要素技術として反映」しているものも 6 件（7%）みられる。また、21 件（25%）は「引き続き技術開発中」となっている。

選択肢	件数	割合
1. 既に製品化・実用化し、出荷している	18 件	21%
2. 既に製品化・実用化しているが、出荷実績はない	6 件	7%
3. 販売・量産化に向け生産体制を整えた（または整備中）	8 件	10%
4. 具体的な製品化・実用化に向け、試作品を作成した（または作成中）	10 件	12%
5. 製品化・実用化に向け引き続き技術開発中	21 件	25%
6. 既往の製品に要素技術として開発成果を反映（機能拡充や製品改良に貢献）	6 件	7%
7. 製品化・実用化することを取りやめた	3 件	4%
8. その他※1	12 件	14%

<論文掲載・特許取得等の状況>

論文掲載、新聞等への掲載、特許取得について、各応募提案者とも積極的に行われている。

項目	件数／事業数	
論文掲載	242 件／33 事業	
新聞・雑誌・各種メディアへの掲載	178 件／22 事業	
特許取得	申請中	20 件／12 事業
	取得済	48 件／16 事業